

2024年3月27日
株式会社読売広告社
広報部

—YOMIKO 都市生活研究所—

住民が「愛着」や「誇り」を感じる街をランキング

『シビックプライドランキング2024』発表

シビックプライド 総合1位は「浦安市」

関東 TOP5 は、「浦安市」「中央区」「目黒区」「港区」「渋谷区」

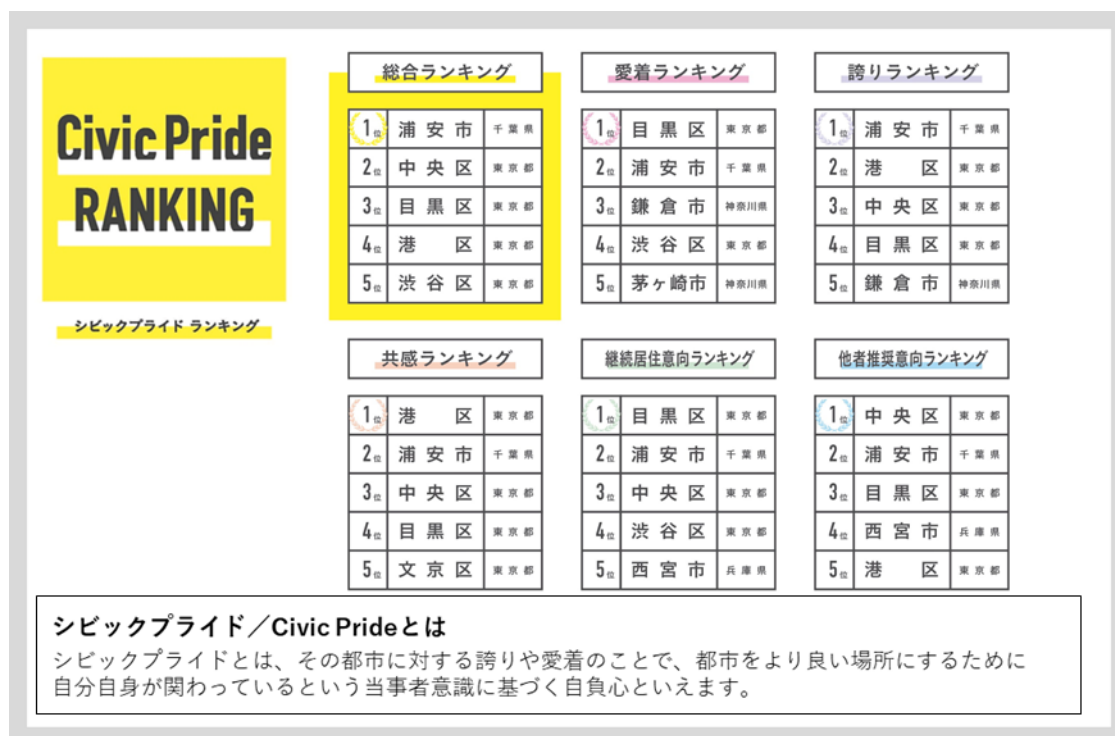
関西 TOP5 は、「西宮市」「明石市」「高槻市」「箕面市」「吹田市」

株式会社読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：菊地英之、以下、YOMIKO）都市生活研究所では、この度、住民の街への評価を明らかにする“シビックプライド調査2024^{*}”を実施し、そのランキング集計の結果概要を発表いたします。

当社は2008年より市民や街に関わる人たちが、その地域、街に対して持つ意識「シビックプライド」に関する研究を行っています。定期的に行っているランキングに、2023年の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う、外出意欲の高まり「リアル回帰」による影響と思われる変動もみられました。

※調査対象：関東圏・関西圏における住民人口10万人以上の自治体(151自治体) 20歳～64歳男女 居住者

*「シビックプライド/CivicPride」は、株式会社読売広告社の登録商標です。



総合ランキング 1位～40位 結果

総合 ランキング

総合ポイント

↑	1位	浦安市	千葉県	745.2
↓	2位	中央区	東京都	738.8
↑	3位	目黒区	東京都	734.6
→	4位	港区	東京都	729.6
↑	5位	渋谷区	東京都	719.0
↑	6位	文京区	東京都	712.8
↑	7位	茅ヶ崎市	神奈川県	709.4
↓	8位	武蔵野市	東京都	708.6
↓	9位	西宮市	兵庫県	708.4
↑	10位	世田谷区	東京都	704.5
↑	11位	横浜市	神奈川県	704.5
↓	12位	鎌倉市	神奈川県	700.9
↑	13位	台東区	東京都	698.4
↓	14位	藤沢市	神奈川県	697.5
↑	15位	杉並区	東京都	695.1
↓	16位	明石市	兵庫県	693.5
↓	17位	品川区	東京都	692.7
↑	18位	調布市	東京都	687.4
↑	19位	中野区	東京都	686.0
↑	20位	高槻市	大阪府	685.7

総合ポイント

↑	21位	三鷹市	東京都	683.9
↓	22位	箕面市	大阪府	683.6
↑	23位	川越市	埼玉県	683.2
↑	24位	墨田区	東京都	681.2
↓	25位	立川市	東京都	679.8
↓	26位	吹田市	大阪府	678.1
↑	27位	枚方市	大阪府	675.6
↓	28位	生駒市	奈良県	670.5
↑	29位	流山市	千葉県	670.2
↑	30位	豊島区	東京都	669.0
↓	31位	神戸市	兵庫県	668.3
↓	32位	豊中市	大阪府	668.1
↑	33位	府中市	東京都	666.2
↓	34位	高崎市	群馬県	665.9
↑	35位	習志野市	千葉県	665.3
↓	36位	京都市	京都府	662.0
↓	37位	江東区	東京都	661.8
↓	38位	伊丹市	兵庫県	660.8
↑	39位	葛飾区	東京都	660.2
↑	40位	柏市	千葉県	658.3

■ランキング集計方法について

総合ランキングのポイントは、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」5指標のスコアを足し上げし、1000点満点化したものです。

なお、5指標のスコアについては、以下質問内容を[非常にあてはまる～まったくあてはまらない]の7段階で聴取し、[非常にあてはまる]を7点～[まったくあてはまらない]を1点とし、平均値を算出しています。

【愛着】 「この街に愛着を持っている」

【継続居住意向】 「今後もこの街に住み続けたい」

【誇り】 「この街に誇りを持っている」

【他者推奨意向】 「この街を人にも勧めたい」

【共感】 「この街（のあり方）に共感している」

ランキング横の矢印は前回 2021 調査からのランキング変動の結果を示しています。

総合ランキング上位のポイント

総合ランキング 1 位について

■<総合 1 位(関東 1 位)> 浦安市 (千葉県)

前回 (総合 17 位)、前々回 (総合 14 位) とともに上位にランキングされてきた千葉県浦安市がさらに順位をあげて 1 位になりました。東京ディズニーリゾート(以下 TDR)がある街としても知られる浦安市ですが、今回調査においても、街のイメージ評価では「レジャー施設やスポーツ施設が充実している」が全 151 自治体中 1 位となっています。特に、直近では 2023 年の開業 40 周年、2024 年の新エリア開業、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行によるレジャー自体の注目・回帰、などによってメディアで取り上げられることが多く、市民が自分の街を意識するきっかけとなったことが考えられます。また、それ以外にもイメージ評価「街並みが整備されている」でも 1 位となっていたり、市民・関係人口を巻き込んだ公共交通機関である駅施設改良施策の実施など自治体が積極的にチャレンジしていたり、テーマパークの存在以外にもシビックプライドにつながる要素が見受けられます。

総合ランキング 上位の注目ポイント

■横浜市が大きくランキングを伸ばし 11 位に

前回順位 66 位の横浜市は、今回 11 位と大きく順位を上げました。街のイメージ評価では、「教育・文化・学びの場や機会・新しいカルチャーが生まれる」といった教育と文化に関する項目で他自治体よりも高い評価を得ています。また、前回調査との比較において、「街への誇り」や「この街をもっと良い街にしたい」といった項目が特に高まりをみせました。『ヨコラボ』といった公民連携の地域課題解決にむけた場・機会提供などを実施していたり、市民との対話や共創をテーマにした活動を活発化させていることに加え、2023 年横浜市においては鉄道相互直通運転が開業し、利便性が向上したこと、また夏の高校野球において地元の高校が優勝したことなどによって、横浜市全体としての注目度が高まったこともあいまって、あらためて自分の街の価値を感じるきっかけになったとも思われます。

■街のイメージにつながるリアルイベントを機に自分の街の魅力を再認識

新型コロナウイルスの影響で 3 年連続中止となっていた花火大会が各地で再開されたのが 2023 年でした。国内外から多くの人を訪れる隅田川花火大会の開催地・台東区 (前回 22 位→13 位) と隣の墨田区 (前回 51 位→25 位)、半世紀以上の歴史がある葛飾納涼花火大会が行われる葛飾区 (前回 80 位→39 位) が順位を上げました。いずれも「この街にいると楽しい」や「この街にお気に入りの場所がある」といった項目で他自治体よりも高い傾向がみられました。街のイメージに直結するイベントが数年ぶりに開催されたことにより、地元根づく街の魅力を改めて実感したといえそうです。

■調査方法

インターネット調査

■調査対象者

以下対象エリアの自治体に住む 20 歳～64 歳の男女

■調査対象エリア

関東圏（1 都 6 県）、関西圏（2 府 4 県）における人口 10 万人以上の 151 自治体

※および、前回調査対象自治体

以下対象自治体一覧

関東圏						関西圏	
<東京都>	八王子市	平塚市	木更津市	加須市	足利市	<京都府>	<兵庫県>
中央区	町田市	茅ヶ崎市	成田市	ふじみ野市	佐野市	京都市	神戸市
港区	府中市	厚木市	我孫子市	富士見市	那須塩原市	宇治市	姫路市
新宿区	調布市	大和市	鎌ヶ谷市	坂戸市		<大阪府>	西宮市
文京区	西東京市	小田原市	<埼玉県>	<茨城県>		大阪市	尼崎市
台東区	小平市	秦野市	さいたま市	水戸市		堺市	明石市
墨田区	日野市	鎌倉市	川口市	つくば市		東大阪市	加古川市
江東区	三鷹市	海老名市	川越市	日立市		枚方市	宝塚市
品川区	立川市	座間市	所沢市	ひたちなか市		豊中市	伊丹市
目黒区	東村山市	伊勢原市	越谷市	古河市		吹田市	川西市
大田区	多摩市	<千葉県>	草加市	土浦市		高槻市	三田市
世田谷区	武蔵野市	千葉市	春日部市	取手市		茨木市	<滋賀県>
渋谷区	青梅市	船橋市	上尾市	筑西市		八尾市	大津市
中野区	国分寺市	松戸市	熊谷市	<群馬県>		寝屋川市	草津市
杉並区	小金井市	市川市	新座市	高崎市		岸和田市	長浜市
豊島区	東久留米市	柏市	狭山市	前橋市		和泉市	東近江市
北区	昭島市	市原市	久喜市	太田市		守口市	彦根市
荒川区	<神奈川県>	八千代市	入間市	伊勢崎市		箕面市	<奈良県>
板橋区	横浜市	流山市	深谷市	桐生市		門真市	奈良市
練馬区	川崎市	佐倉市	朝霞市	<栃木県>		大東市	橿原市
足立区	相模原市	習志野市	戸田市	宇都宮市		松原市	生駒市
葛飾区	藤沢市	浦安市	三郷市	小山市		富田林市	<和歌山県>
江戸川区	横須賀市	野田市	鴻巣市	栃木市		羽曳野市	和歌山市

■調査内容

- ・現在 住んでいる街（自治体）に対する意識
 - 一街に対する意識（愛着、誇り、共感、継続居住意向、他者推奨意向、地域とのつながり など）
 - 一街の環境評価（インフラ、街並み、治安、地域イベント、育児環境、ジェンダー平等など）
 - 一街に対して感じる気分や気持ち
- ・居住歴 ・ウェルビーイングに関する評価 ・生活満足度 など

■有効回収数

15,100s ※各自治体 100s 以上

■調査時期

2024 年 1 月 12 日～1 月 18 日

シビックプライドランキング 2024 リーフレットとお問い合わせ先

今回の「シビックプライド調査 2024」について、総合ランキングの 41 位以降順位も掲載した「シビックプライド ランキング 2024 リーフレット」を 2024 年 4 月上旬以降に制作予定です。自治体関係者のみなさまで、ご興味のある方は、以下のアドレスまでご連絡ください。ご希望される方に、PDF ファイルにてお送りさせていただきます。

ご連絡先：都市生活研所 シビックプライドリサーチチーム civic-pride@yomiko.co.jp

※当社の判断により、競合他社など一部の方へのご提供をお断りさせていただく場合がございます。

CIVIC PRIDE ポータルサイトについて

YOMIKO は、「シビックプライド」の調査や事例など様々な情報を発信する「CIVIC PRIDE ポータルサイト」を運営しています。今回の「シビックプライド調査 2024」についても同サイトに結果を掲載しています。

「CIVIC PRIDE ポータルサイト」 <https://civic-pride.com/>

* 「シビックプライド/CivicPride」「CIVIC PRIDE」は、株式会社読売広告社の登録商標です。

取材に関するお問い合わせ 広報部 田代・大瀧 TEL：03-5544-7104 / メール：koho_mail@yomiko.co.jp

株式会社読売広告社 所在地：東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル <https://www.yomiko.co.jp>